

社是

勇気、礼儀、正義

～挑戦する姿勢、感謝する気持ち、正しい姿勢～

企業理念

培ってきた技術と経験を活かし、
価値ある建造物とサービスを社会に提供することで、
安心して暮らせる持続可能な社会・環境づくりに貢献する。

CSR 経営方針

西松建設では、一人ひとりがCSRの実践者であり、
日常業務の中ですべてのステークホルダーを意識して行動することを目指します。
自由闊達で風通しの良い社内風土のもと、会社と社員が互いに信頼しあい、
ステークホルダーの皆様とWin-Winの関係を実現する
『すべての人を大切に想う』CSR経営を実践していきます。

CSR経営の 5つの取組み

1. お客様一人ひとりの想いを大切にし、お客様の求める夢の実現に向け、豊かな生活環境を創造します。
2. 社員をはじめ、当社に関わり働くすべての方々とその家族が、健康で充実した生活を送り、一人ひとりが遺憾なく能力を発揮でき、働く誇りを持てる職場を実現します。
3. 社会からの期待や要請を認識して、コンプライアンス精神に則った勇気ある行動を実践し、社会常識と乖離しない健全な企業活動を推進します。
4. 次世代の人を想い、持続可能な社会に貢献するため、よりよい環境の創造と保全に向けて積極的に行動します。
5. 国内外を問わず、地域社会の人々と密接なコミュニケーションを図り、企業として社会貢献に積極的に取組むとともに、社員一人ひとりの取組みを支援します。

目次

1	未来を創る“現場力”	27	価値提供の基盤
3	現場を起点とした総合力の発揮	27	サプライチェーンマネジメント
5	企業理念	28	人財マネジメント
7	西松建設SNAPSHOT	29	「現場力」向上にむけた取組み
11	社長メッセージ	31	環境経営先進企業にむけて
17	監査等委員である取締役によるディスカッション	33	コーポレートガバナンス
19	事業別価値提供	35	コンプライアンス／リスクマネジメント
19	土木事業本部	36	CSRマネジメント
21	建築事業本部	37	取締役一覧
23	開発・不動産事業本部	39	連結財務諸表
25	国際事業本部	43	会社概要／事業拠点
		44	株式の状況

将来見通しについて／本冊子には西松建設の事業および展望に関する将来見通しが含まれています。これらは、既存の情報やさまざまな動向についての当社による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあり得ます。

編集方針

西松建設では、財務・非財務両面を含めた企業価値をお伝えするため、今回より統合報告 (Integrated Reporting) を実施し、従来の「アニュアルレポート」と「サステナビリティレポート」(冊子版) を統合しています。

対象組織 西松建設株式会社および連結子会社の活動について報告していますが、一部では西松建設単体について掲載しています。

対象期間 基本的には、財務報告期間である「2016年4月～2017年3月」を対象期間としていますが、最新情報を提供する重要性に鑑み、一部、2017年度の情報も含まれます。

掲載情報 本冊子の掲載情報は、西松建設の短・中・長期の価値提供に対する重要度とステークホルダーへの影響度に鑑み、重要性の高い事項を掲載することとしています。なお、CSR(企業の社会的責任)情報の詳細については、ウェブサイトにて報告しています。

参考ガイドライン 本冊子からは、統合報告の国際的なフレームワークである「国際統合報告評議会 (IIRC)*」の「Integrated Reporting<IR>」を参考に、西松建設の価値提供にむけた報告に取り組んでいます。<IR>は、次の7つを基本原則とし、企業の短・中・長期の価値提供についての報告を図るもので、西松建設が目指す統合報告と基本的な志向が一致したものととらえています。
A) 戦略的焦点と将来志向、B) 情報の結合性、C) ステークホルダーとの関係性、D) 重要性、E) 簡潔性、F) 信頼性と完全性、G) 首尾一貫性と比較可能性

CSR情報については、環境省発行の『環境報告ガイドライン(2012年版)』、GRI(Global Reporting Initiative)の『持続可能性ガイドライン第4版(2013年発行)』を参考にしています。信頼性確保の観点から、環境データおよび人事データの一部に対し、第三者保証を導入しています。

※ 国際的な企業報告フレームワークの提供を目的として2010年に設立された、民間企業、投資家、会計士団体、行政機関、NGOなどによる団体。2013年12月に当該フレームワークを公表しました。

西松建設の情報開示体系

冊子とウェブサイト、それぞれの媒体特性を活かして、西松建設の社会的責任活動を報告しています。冊子では2016年度の主な取組みを中心に掲載し、ウェブサイトではさらに詳細な情報を掲載しています。

ウェブサイト
<https://www.nishimatsu.co.jp/>

